基本目標	3	いきいき学び豊かな心を育むまち
基本施策	1	子どもたちの生きる力を育み、可能性を伸ばすまちづくり

## 基本施策の目標

子どもたちが、新しい時代をたくましく生きていくために、確かな学力や豊かな人間性と心身の健やかな成長を育む教育が充実したまちを目指します。

	基本事業の成果指標							
基本	指標名	単位	(H21)		(H27)		(H29)	(H32)
事業	141宗石	丰位	現状値	中間目標値	実績値	評価	実績値	最終目標値
1	施設・設備・教材等の整備に満足している保護者等の割合	%	66.7	75.0	78.7	С	79.2	83.3
2	幼児教育・小中学校教育に満足している市民の割合	%	53.8	65.4	63.1	С	_	77
3	授業の理解度(小学校)	%	75.7	81.8	79.2	С	81.8	87.9
3	授業の理解度(中学校)	%	54.1	65.6	79.8	С	78.6	77.1
4	いじめ防止に対する理解度(小学校)	%	77.4	100	97.1	В	96.9	100
4	いじめ防止に対する理解度(中学校)	%	54.7	100	85.0	В	90.0	100
<b>⑤</b>	基本的生活習慣の定着度(小学校)	%	80.5	85.4	84.7	С	85.7	90.3
<b>⑤</b>	基本的生活習慣の定着度(中学校)	%	77.1	82.8	82.9	С	79.4	88.6
6	小中学校教育が充実していると思う市民の割合	%	53.3	65.0	63.7	С	_	76.7
7	心身に障害を持つ児童の就学支援 が充実していると思う市民の割合	%	48.1	61.1	59.1	С	_	74.1

	関連事	務事業の実績値				
基本	従	事務事業名	成果指標名	H25計画値	H28計画値	H29計画值
事業	1/4.	<b>学切</b> 学术 <b>石</b>	<b>灰木田宗</b> 石	H25実績値	H28実績値	H29実績値
(1)		   学校施設環境整備事業	施設破損等による	0	0	0
		于仅他以垛况走偏争未	事故件数(件)	0	0	0
(1)		学校施設環境整備事業	学校要望に対する	_	-	-
		于仅加议场先生拥护未	実施率(%)	56.0	49.1	47.5
<b>1</b>	1) ±	学校教材備品充実事業	教材備品充足度	100	100	100
		于仪仪的偏面几天事来	(%)	100	100	100
(1)		学校教材備品充実事業	学校図書蔵書数	42,000	43,500	44,000
		子仪教例開加儿夫爭未	(冊)	38,782	40,687	40,751
(1)		学校教材備品充実事業	学校図書館蔵書率	78.89	81.71	82.64
		于仅仅的岬面几天争来	(%)	81.41	93.75	97.49
( <u>1</u> )		砂川高校支援事業	砂川高校入学者数	_	-	120
		沙川向仪又汲争未	(人)	_	_	112
<b>②</b>		幼稚園就園奨励事業	幼稚園在籍率(%) (保育園在籍者を除	73.0	75.0	76.0
<b>(</b>		初性图机图关侧争未	<)	74.5	90.1	89.0
2		就学時健康診断等事業	就学時健診における 就学指導発生率	-	-	_
<b>(2</b> )		<b>州于时性尿砂则等争未</b>	机子相导光王举 (%)	0.0	0.0	0.0

<sup>※</sup>事務事業名の順番は、実施計画体系一覧に合わせてください。 ※従として関連する事業は従欄に☆を記載してください。

第1次証価 <sup>教育委</sup>	所属・職・氏名 三員会 学務課長 安田 頁 平成31年2月21日 三員会 給食センター所長 橘 加奈子
評価	評 価 理 由
□ 極めて良好である	基本事業に係る成果指標に関し、平成27年度及び29年度実績値を最終目標値と 比較した場合、殆どの項目で最終目標値を下回っており、経年で進捗が期待でき
□ 良好である	る項目設定ではないため、最終的な達成度の予測は難しい。 ただし、中間年以降も毎年度、行政課題に即した取組を進めており、計画的な
✓ 普通である	施設設備の修繕(学校給食センターを含む。)、全小中学校へのタブレットの配置、児童生徒の支援に必要な嘱託職員等の任用(スクールソーシャルワーカーや
□ 問題がある	複式学級支援員等の配置、特別支援教育支援員や外国語指導助手の増員)、放課
□ 極めて問題がある	後学習サポート事業の開始など、教育環境の改善を着実に進めていることから 「普通」と判断した。

市内小中学校においては、少子化に伴う児童生徒数の減少傾向に歯止めがかからず、通常学級の減少が続いており、 学校間で校舎等施設に差異があるハード面や、特別支援教育の充実など学校教育に係るソフト面でも課題がある現状も 踏まえ、平成30年度から適正規模・適正配置について検討を始めている。

また、学習指導に関しては、児童生徒に係る学力・体力の向上や新学習指導要領に対応した教育課程の編制が求められ、生徒指導に関しては、「いじめの積極的な認知」による未然防止への取組や、スマートフォン等の適切な使用を含め、望ましい生活習慣の定着に向けた家庭への働きかけが必要になってきている。

この他、現行の指標にはないが、教職員における働き方改革の推進が喫緊の課題となっている。

#### 今後の方向性・改善策

適正規模・適正配置については、今後、基本的な方針の策定に向けて検討を進めていく。教育環境の整備に関しては、 将来的な適正規模・適正配置との関連性を踏まえつつも、現状の学校運営に支障を来たしている状況がある場合は、効 果的・効率的な方法により改善を行っていく。

また、社会に開かれた教育課程を目指すため、コミュニティスクールの導入に向けた準備を進め、平成32年度から小学校1校、中学校1校ずつモデル校による導入を進める。

学習指導及び生徒指導に関しては、教育委員会として適切な指導を行っていくとともに、働き方改革に関して平成30年に策定した当市行動計画の推進を図っていく。

	所属・職・氏名 員会 教育次長 河原 希之	評価年月日 平成31年2月26日
評価	評価 理由	
□ 極めて良好である	目標値との関連では、全体的に著しい成果をあげているとは言るが、学校教育に係る行政課題は短期間での解決が困難な普遍的	
□ 良好である	児童生徒にとって時代の変化に対応できる真に必要な「生きる力	
✓ 普通である	せるため、常に適切な教育環境の整備が求められる。 ついては、新学習指導要領の導入に向けた準備や、円滑な学校	を運営に資する施
□ 問題がある	設・設備の修繕、人材の配置等に取り組むとともに、当市にとった。	
□ 極めて問題がある	ある適正規模・適正配置に関して検討に着手している点に鑑み、 めていることから「普通」と判断すべきものと思慮する。	必安な刈心を進

最終評価	部長	<del>評価者</del> 部長職(総合計画策定委員)で構成する施策評価チーム 					
評価		評価理由及び意見					
□ 極めて良好である		基本事業にける実績では目標を達成していないが、確かな学力課後学習サポート事業を実施して学校以外での学習機会の提供に					
□ 良好である		定着を図っているほか、豊かな人間性を育むことについてもいじ	じめ防止の理解度				
✓ 普通である		で目標設定時期からすると大きく改善傾向となっており、また学  適宜改善を図ってきていることから「普通である」と評価した。	፟ዸ校環境整備でも				
□ 問題がある							
□ 極めて問題がある							

関連事務事業の実績値 3−1 別組							
基本事業	従	事務事業名	成果指標名	H25計画值 H25実績値	H28計画值 H28実績値	H29計画值 H29実績値	
3		     外国青年招致事業	小中学校ALT 派遣達成率	100.0	100.0	100.0	
•		710117111111111111111111111111111111111	(%)	100.6	108.3	99.5	
3		総合的な学習の時間	授業理解度	70.0	75.0	80.0	
9		交付金事業	(%)	69.6	75.6	72.2	
3		社会科副読本	_	_	_	_	
		編製事業		-	-	-	
3		放課後学習	授業理解度	_	_	80.0	
9		サポート事業	(%)	-	-	81.8	
<b>4</b> )		小学校宿泊学習	   小学校におけるいじめ   防止に対する理解度	100.0	100.0	100.0	
•		支援事業	(%)	93.1	97.0	96.9	
<b>4</b> )	小·中·高校合同 音楽会事業		   児童生徒の参加率及   び観客数前年度比較	100.0	100.0	100.0	
•		(%)	103.6	100.7	98.5		
<b>4</b> )		書道美術作品展	展示作品数 前年度比較	100.0	100.0	100.0	
•		事業	(%)	94.1	111.3	89.3	
<b>4</b> )		児童生徒指導・	問題行動等のある 児童生徒数	_	_	12	
•		教育相談事業	(人)	-	-	7	
(5)		小学校体育授業		_	_	_	
		支援事業		-	-	-	
(5)		児童生徒大会	_	_	_	_	
•		出場助成事業		-	-	-	
<b>(5</b> )		 	食に関する指導授業	42.5	42.5	42.5	
9		及日瓜佐芋木	(時間)	42.5	42.5	42.5	
<b>(5</b> )		学校給食センター	事故件数	0	0	0	
9		整備事業	(件)	0	0	0	
6		学校評議員	   1校当たりの   評議員会開催数	2.4	2.7	3.0	
9		設置事業	(回)	1.7	2.7	2.7	

関連事務事業の実績値 3-1 別紙

関連事務事業の実績値   3-1 別紙						
基本事業	従	事務事業名	成果指標名	H25計画值	H28計画値	H29計画値
尹木			=# \( \text{\chi} \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	H25実績値 2	H28実績値	H29実績値 2
6		学校保健会活動 交付金事業	講演会、会報 発行回数	***************************************	2	2
		入り业ず木	(回)	2	2	1
		│ │ 教育推進協議会	授業理解度	72.0	76.0	78.0
6		交付金事業	(%)	73.6	73.9	80.2
7		特別支援学級	体験学習参加率	100.0	100.0	100.0
		体験学習支援事業	(%)	95.2	90.3	90.9
7		特別支援教育	特別支援教育就 学支援受給者数	-	-	_
		就学支援事業	(人)	7	18	18
7		特別支援教育	支援員1人当たりの 受け持ち児童生徒数	10	10	10
		支援員配置事業	(人)	16	8	14
		特別支援学級	研修会等会議参加	100.0	100.0	100.0
		連絡協議会 交付金事業	率 (%)	100.0	100.0	100.0
	<u> </u>	l	1		I	

基本目標	3	いきいきと学び豊かな心を育むまち
基本施策	2	一人ひとりが自ら学び、人生を豊かにするまちづくり

### 基本施策の目標

一人ひとりが生涯にわたって自主的・主体的に学習できる環境を充実し、学びの成果を家庭や地域に活かすことができ るまちを目指します。

	基本事業の成果指標							
基本	指標名	単位	(H21)		(H27)		(H29)	(H32)
事業	担保石 	四甲	現状値	中間目標値	実績値	評価	実績値	最終目標値
1	生涯学習環境に満足している市民の割合	%	17.9	30	17.7	Е		50
2	図書館における市民1人当たりの貸出数	#	3.8	4.3	3.8	Е	3.9	4.8
3	公民館利用者数	人/年	35,238	36,000	14,466	Е	26,450	36,000

関連事務事業の実績値						
基本	従	事務事業名	成果指標名	H25計画値	H28計画値	H29計画値
事業	,IC	争协争未有	八木111宗石	H25実績値	H28実績値	H29実績値
(1)		国際交流	参加者の満足度	97.0	100.0	100.0
		ふれあい事業	(単位/%)	97.0	100.0	100.0
(1)		┃ ┃ ┃ ┃ ┃ 高齢者教育推進事業	事業の満足度	90.0	90.0	90.0
		问题中我们证定事来	(単位/%)	94.4	100.0	84.0
(1)		オアシス通信発行事業	町内会の配布率	100.0	100.0	100.0
		カナンへ過日元刊事末	(単位/%)	100.0	100.0	100.0
(1)		青年教育事業	事業の満足度	100.0	100.0	100.0
		月 中	(単位/%)	100.0	100.0	_
(1)		成人式運営事業	新成人の参加率	75.0	80.0	80.0
			(単位/%)	74.6	73.6	69.9
(1)		学習の達人事業	学習支援を受けた人 の満足度	100.0	100.0	100.0
		(学習相談事業)	(単位/%)	100.0	100.0	100.0

<sup>※</sup>事務事業名の順番は、実施計画体系一覧に合わせてください。 ※従として関連する事業は従欄に☆を記載してください。

第1	次評価	所属・職・氏名 員会社会教育課長・公民館長・図書館長 今崎 大三	評価年月日 平成31年2月28日
	評価	評 価 理 由	
	極めて良好である	基本事業の成果指標について、図書館における市民1人当たり 館利用者数は、平成27年度の公民館耐震化等改修事業による閉館	
	良好である	路利用有数は、十成27千度の公民語画展化等以修事業による閉題 降、実績値の回復が進まないなど、目標値に及ばない状況ではあ	
<b>✓</b>	普通である	流ふれあい事業や公民館主催事業、図書館開館時間延長事業など ては、おおむね良好な状態で実施できているため「普通である」	
	問題がある	Cは、わわむね良好な状態で美胞でさているだめ「盲題である」 	と計画した。
	極めて問題がある		

近年、グループサークル数の減少、さらには会員数の減少もあり、生涯学習の活動拠点でもある公民館利用者が減少 してきている。

また、科学技術の高度化、情報化、少子高齢化が進展する中で、市民が主体的・意欲的に取り組むことができる学習機会の提供や情報の提供が、より必要とされてきている。

#### 今後の方向性・改善策

外部評価委員による事業評価や事業ごとのアンケート結果などをもとに事業を検証し、市民が主体的・意欲的に生涯学習に取り組むことのできる学習機会の提供やその成果を発揮する場の環境づくりに引き続き努め、地域人材の活用・育成にも取り組みながら、生涯学習の充実を図っていく。

第2次評価	「属·職·氏名 : 河原  希之	評価年月日 平成31年2月28日
評価	評 価 理 由	
□ 極めて良好である	平成27年度の基本事業の公民館利用者数では、公民館耐震化工 響を受け、利用者が減少したものであり、その後、関連事務事業	
□ 良好である	音を受け、利用有が減少したものであり、その後、関連事務争まれぞれ反省評価を行い、内容の充実を図ったことで、関連事業の	
✓ 普通である	回っており、また、国際交流ふれあい委員会、公民館グループ・	
□ 問題がある	体と連携し効果的に事業を実施していることなどから「普通であ	る」と評価する。
□ 極めて問題がある		

最終評価	<i>評価者</i> 部長	長職(総合計画策定委員)で構成する施策評価チーム	評価年月日 平成31年3月28日
評価		評価理由及び意見	
□ 極めて良好である		生涯学習の拠点でもある公民館利用者は日常的に活動するグル 少の影響が出ている一方、公民館講座などの受講者が大きく増加	
□ 良好である		張公民館講座も目標を大きくクリアしているものもあり、また図	
✓ 普通である		は目標値としては到達していないものの、管内の市立図書館の平ると極端に低いものではなく、さらに図書館開館時間延長(夜間	
□ 問題がある		大きく上回ってきていることから「普通である」と評価した。	
□ 極めて問題がある			

関連事務事業の実績値 3-2 別紙

関連事務事業の実績値 3-2 別									
基本	従	   事務事業名	   成果指標名	H25計画値	H28計画値	H29計画値			
事業				H25実績値	H28実績値	H29実績値			
2	②		学校図書蔵書数	42,000	43,500	44,000			
	九夫爭未	(単位/冊)	38,782	40,687	40,751				
2	☆	学校教材備品	学校図書館蔵書率	79	82	83			
<b>D</b>		充実事業	(単位/%)	81	94	97			
2		│ │ │ │ 読書活動推進事業	市民一人当たり図書	4.1	4.4	4.5			
٧			(単位/冊)	4.1	3.8	3.9			
2		子ども読書活動	ー日当たり読書を 全くしない小学生	29.2	26.2	25.2			
<b>2</b> )		推進事業	の割合 (単位/%)	37.1	27.8	43.4			
2		子ども読書活動	一日当たり読書を 全くしない中学生	43.7	34.7	31.7			
<b>(2</b> )		推進事業	の割合 (単位/%)	49.1	45.7	50.0			
1	☆	八口位子四古米	公民館講座等	185	179	176			
3		公民館主催事業	受講者数 (単位/人)	255	438	377			
3		出張公民館事業	参加者数	30	30	30			
<b>3</b>		山饭公氏鸱争未	(単位/人)	147	123	135			
3		公民館、郷土資料室 及び図書館施設	施設機能に起因する使用不能件数	0	0	0			
9		整備事業	(単位/件)	0	0	0			
3		図書館開館時間	夜間開館時 市民貸出冊数	1,092	1,107	1,112			
<b>3</b>		延長事業	(単位/冊)	3,939	2,158	2,892			
3		図書充実事業	図書館業務に 対する苦情件数	0	0	0			
<b>3</b>		凶音兀夫争未   	(単位/件)	0	0	0			

基本目標	3	いきいきと学び豊かな心を育むまち
基本施策	3	青少年の健全育成を進めるまちづくり

## 基本施策の目標

学校、家庭、地域が連携して青少年とふれあうとともに、地域社会における安全確保や問題行動の解消に努め、青少年を健全に育成していくまちを目指します。

	基本事業の成果指標							
基本	指標名	単位	(H21)		(H27)		(H29)	(H32)
事業	<b>担保</b> 有	単位	現状値	中間目標値	実績値	評価	実績値	最終目標値
1	家庭教育事業の参加率	%	16.0	35.0	21.8	D	45.8	50
1	家庭教育事業参加者が事業に満足している割合	%	83.0	90.0	99.6	Α	100.0	95.0
2	学校支援ボランティア参加者数	人/年	2,612	3,400	3,842	Α	3,458	3,700
		·				·		

	関連事	務事業の実績値				
基本事業	従	事務事業名	成果指標名	H25計画値 H25実績値	H28計画値 H28実績値	H29計画値 H29実績値
1)		乳幼児教育事業	参加者の満足度	95.0	95.0	95.0
		孔列儿扒日苹木	(単位/%)	100.0	100.0	100.0
(1)		家庭教育セミナー	参加者の満足度	70.0	80.0	80.0
		推進事業	(単位/%)	98.8	100.0	100.0
(1)		家庭教育サポート	企業との連携事業数	20	30	30
	企業推進事業	(単位/回)	0	2	11	
<b>②</b>		PTA連合会活動	PTA活動の研修を 受けた人数	25	25	25
		支援事業	(単位/人/延)	19	16	16
<b>②</b>		子ども会リーダー	リーダー養成を 行った人数	30	30	30
		養成事業	(単位/人/延)	8	0	0
<b>②</b>		ジャリン子ふれあい	事業の満足度	95.0	95.0	95.0
		体験学習事業	(単位/%)	95.0	95.3	89.9
2		子ども会活動育成	子ども会リーダーの 数	30	30	30
2		(ジャリン子夏祭り)事業	————————————————————————————————————	12	0	0

<sup>※</sup>事務事業名の順番は、実施計画体系一覧に合わせてください。

<sup>※</sup>従として関連する事業は従欄に☆を記載してください。

第1次評価	所属·職·氏名 員会社会教育課長	今崎 大三					評価年月日 平成31年3月19日
評価			評	価	理	由	
□ 極めて良好である							ち、家庭教育事業参 あるものの、家庭教
□ 良好である							ででいる状況である
✓ 普通である	ため「普通であ	る」と評値	断した。				
□ 問題がある							
□ 極めて問題がある							

2つの基本事業のうち、「家庭教育の推進」ついては、少子・高齢・核家族化の進行等に伴い、家庭の教育力低下がこれまで以上に懸念されるようになっているため、乳幼児やその保護者を対象とした家庭教育支援施策の充実が一層重要な課題になってきている。

また、もう1つの基本事業の「地域で支える青少年健全育成活動の充実」については、少子化や人口減少等に伴い、現在、市内の単位子ども会53団体のうち、活動中の団体は9団体で多くの団体が活動休止の状態となっており、活動が停滞傾向で推移しているため、子ども会活動のあり方の検討が必要となってきている。同時に、青少年健全育成事業に携わってもらえる人も総じて減少傾向にあることから、人材の確保に向けた取組もこれまで以上に注力することが課題となっている。

### 今後の方向性・改善策

家庭教育の分野においては、乳幼児の健全な成長や、子育てをする保護者が抱える悩みやストレスの解消につながる機会については一定程度確保できていることから、関係機関とも連携しつつ、より深く、豊かな学習内容となるような体制整備を推進し、事業内容を更に充実し家庭教育への支援施策を一層の強化を図っていく必要がある。

また、青少年健全育成活動においては、現在、各事業の実行に携わっている人材が継続的に活動してもらえるような取組を行うとともに、関係機関とも連携しながら、地域でも支える意識の醸成を図りながら、新たな地域人材の発掘・育成を行い人材確保に努めていきたい。

以上のような観点から、家庭教育の支援や青少年健全育成に向けた「人づくり」、「地域づくり」、「絆づくり」の機能が持続可能な形で発揮できるような施策の再構築も含め検討を進める必要がある。

	所属·職·氏名 注 河原 希之		評価年月日 平成31年3月19日
評価	評 価 理	由	
□ 極めて良好である	基本事業のうち、家庭教育事業の参加率については 値を上回っている。関連事務事業全体の達成度として		
□ 良好である	き、42%程度が目標を上回っているが、人口が減少傾		
✓ 普通である	すれば「普通である」と評価した。		
□ 問題がある			
□ 極めて問題がある			

最終評価	部長	部長職(総合計画策定委員)で構成する施策評価チーム 							
評価		評価理由及び意見							
□ 極めて良好である		家庭教育事業は事業満足度が100%であり、また事業参加率も できているが、地域で支えるボランティア数が下回っていること							
□ 良好である		る」と評価した。今後は地域で育てる意識の醸成を進め、人材育							
✓ 普通である		く必要がある。							
□ 問題がある									
□ 極めて問題がある									

莎福在月日

*転再* 

関連事務事業の実績値 3-3 別紙

	生争榜等	事業の実績値			3-3 別紙_			
基本事業	従	事務事業名	成果指標名	H25計画値 H25実績値	H28計画値 H28実績値	H29計画値 H29実績値		
2		子ども会育成団体連絡	地域で活動をしてい	25	30	30		
2		協議会推進事業	る子ども会の数 (単位/団体)	18	12	9		
2		青少年指導センター推	巡回指導補導人数	0	0	0		
2	進事業	進事業	(単位/人/延)	0	0	0		
2	青少年健全育成市民 の集い運営事業	参加者の満足度	93.0	95.0	95.0			
		(単位/%)	100.0	-	_			
2		青少年問題協議会運	青少年健全育成市 民のつどい参加人数	150	150	150		
	<i>望</i>	(単位/人)	80	-	_			
2		放課後子ども教室推進	安全安心な居場所の 推進率	90.0	95.0	95.0		
	<i>ジ</i>	(単位/%)	100.0	100.0	100.0			
2		あいさつ運動推進事業	安心安全なまちづく りの推進度	70.0	80.0	80.0		
		めいでク定動性定事未	(単位/%)	88.0	93.1	86.7		
2		地域サークル活動推 進事業	地域コミュニティを 図った人数	17,600	17,700	17,700		
		(旧コミュニティ・スクー ル推進事業)	(単位/人/延)	19,026	20,868	17,573		

基本目標	3	いきいきと学び豊かな心を育むまち
基本施策	4	スポーツ・レクリエーションに親しめるまちづくり

### 基本施策の目標

年齢や体力、技術に応じたスポーツ・レクリエーション活動の機会や場を充実させ、市民の誰もが気軽に運動を楽しみ、 心身ともに健康に過ごせるまちを目指します。

	基本事業の成果指標							
基本	基本 指標名		(H21)		(H27)		(H29)	(H32)
事業	担保石	単位	現状値	中間目標値	実績値	評価	実績値	最終目標値
1	スポーツ施設利用者数	人	131,585	139,000	129,254	Ш	123,978	149,000
1	スポーツ・レクリエーション施設が充実していると思う市民の割合	%	30.6	40.0	26.2	Ш	_	50.0
2	スポーツ団体数	団体	61	66	55	Ш	55	71
2	スポーツ活動への支援に満足している市民の割合	%	17.4	35.0	15.2	Е	_	50.0

	関連事	務事業の実績値					
基本	従	事務事業名	成果指標名	H25計画値	H28計画値	H29計画値	
事業	, IAC	于初于木口	从不归宗口	H25実績値	H28実績値	H29実績値	
(1)		     市営野球場改修事業	市営野球場利用者	<del>-</del>	_	16,000	
		11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	数(単位/人)	12,280	10,656	850	
<b>(1)</b>		市営陸上競技場	市営陸上競技場利	<del>-</del>	_	10,000	
		改修事業	用者数(単位/人)	6,686	8,743	7,239	
(1)		  総合体育館トレーニン	トレーニング機器利	_	_	_	
	が機器導入事業   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		用者数(単位/人)	-	_	_	
(1)		市営テニスコート	市営テニスコート利	_	_	_	
		改修事業	用者数(単位/人)	13,604	21,419	19,891	
<b>②</b>		体育協会活動	体育協会登録団体 数(単位/団体)	24団体 228人	24団体 228人	24団体 228人	
2		支援事業	スポーツ少年団登録 人数(単位/人)	22団体 206人	22団体 148人	22団体 197人	
<b>②</b>		体育振興及び	事業参加延人数	120	120	120	
	指導事業		(単位/人)	81	65	76	
2		海洋スポーツ	利用人数	5,400	5,400	5,400	
<b>(</b>		振興事業	(単位/人)	6,056	5,866	5,213	

<sup>※</sup>事務事業名の順番は、実施計画体系一覧に合わせてください。

<sup>※</sup>従として関連する事業は従欄に☆を記載してください。

	所属·職·氏名 振興課長 佐々2	<i>木 純人</i>						価年月日 31年2月25日
評価			評	価	理	由		
□ 極めて良好である	基本事業「. は実施時期の							備について
□ 良好である	「スポーツ・							
✓ 普通である	て参加者アン						めているも	のの、成果
□ 問題がある	指標の計画値	- 到達し(	いないも	のか多し	ハ状况でめ	) බං		
□ 極めて問題がある								ļ

少子高齢化が進む中、生活習慣病や介護予防の観点からスポーツの果たす役割がクローズアップされており、子どもから高齢者、性別、障がいの有無を問わず、誰もがスポーツを楽しみ、親しみながら継続する、生涯スポーツの推進が求められている。

人口減少・高齢化の影響などから市内のスポーツ団体は、団体数・所属人数とも減少傾向が見受けられ、スポーツ活動の受け皿となるスポーツ団体の活動の充実、活性化を図ることはスポーツの推進にとって重要である。

また、安全性の確保や快適なスポーツ環境の提供のために、施設・設備の老朽化に対する対応が求められており、適切な維持管理や計画的な改修を実施するとともに、利用者ニーズを的確に把握した設備の充実に努めることが求められている。

#### 今後の方向性・改善策

生涯スポーツを推進するため、各年代層に応じた教室やイベント開催や年齢、興味や関心、体力、技術レベル、障がいの種別や程度などに応じて誰もがスポーツに携わることができるよう機会の創出、支援を推進するとともに、保健部局との連携を強化し健康・体力づくりを目的とした事業の充実に努める。

スポーツ団体活動の充実を図るため、体育協会・各競技団体・スポーツ少年団・サークル等への支援、大会出場・開催に対する助成、指導者の発掘・育成、資質・指導力向上に努める。

スポーツ施設機能の充実を図るため、施設や設備、機器の適切な維持管理の実施、計画的な更新や改修、充実に努めるとともに、利用者ニーズに対応した利用しやすいスポーツ施設となるよう適切な管理運営に努める。

	所属・職・氏名 長 河原 希之	評価年月日 平成31年2月28日
評価	評 価 理 由	
□ 極めて良好である	市営野球場は改修の影響により数値を大幅に下げたことのほかに達していない状況もあるが、これは少子高齢化や人口減少も影	
□ 良好である	思われるため「普通である」と評価した。今後は施設の利活用促	進につながるよう
✓ 普通である	な誰にでも気軽に取り組むことのできる軽スポーツ事業や障がい	
□ 問題がある	環境の整備も行い、スポーツ人口の拡大とスポーツレクリエーシー 努めていく必要がある。	/ョン機会の允美に
□ 極めて問題がある		

最終評価		委員)で構成する施策評価チーム	評価年月日 平成31年4月4日
評価		評価理由及び意見	
□ 極めて良好である □ 良好である	環境面での充実に教	ド面の施設整備については順次改修を行ってき 努めてきている。また、施設利用者やスポーツ スポーツの参加者が伸びきてきており、さらに ポーツ参加への取組も推進させてきていること	団体数が減少して 保健福祉部門とも
✓ 普通である	連携しなから、人/  る」と評価した。	トーク参加への取組も推進させてさていること	から「百週での
□ 問題がある			
□ 極めて問題がある			

関連事務事業の実績値 3-4 別紙

関連	関連事務事業の実績値 3-4 別紙							
基本	   従	事務事業名	成果指標名	H25計画値	H28計画値	H29計画値		
事業	1AC	<b>学</b> 协争未位	<b>火木14</b> 1宗石	H25実績値	H28実績値	H29実績値		
2		少年スポーツ教室	参加延人数	1,100	1,100	1,100		
		開催事業	(単位/人)	1,286	1,341	1,501		
2		スポーツ大会開催及び	全道大会等出場者	50	50	50		
		出場助成事業	数(単位/人)	106	43	56		
2		全道中学生剣道錬成	参加者数	900	900	900		
		大会交付金事業	(単位/人)	898	818	800		
1		スポーツ振興及び施設	実施事業数 (単位/事業)	9事業 8,000人	9事業 8,000人	9事業 8,000人		
		運営管理委託事業	事業参加人数 (単位/人)	4事業 1,590人	2事業 470人	1事業 383人		
2		市民体育祭	参加者数	_	1,400	1,400		
		交付金事業	(単位/人)	1,108	827	943		
-				•	•			

基本目標	3	いきいきと学び豊かな心を育むまち
基本施策	5	豊かな心とふるさと意識を育むまちづくり

## 基本施策の目標

市民が心豊かでうるおいに満ちた生活を送ることができるよう、芸術文化活動や鑑賞機会の充実を図り、新たな地域文化の創造を促すとともに、まちの個性や魅力でもある貴重な文化財や郷土資料の保存、継承等に努め、市民のふるさと意識が芽生えるまちを目指します。

	基本事業の成果指標							
基本	指標名	単位	(H21)		(H27)		(H29)	(H32)
事業	14 保石	中世	現状値	中間目標値	実績値	評価	実績値	最終目標値
1	地域交流センター利用者数	人/年	68,971	73,000	74,525	Α	66,073	75,000
1	芸術や文化に親しむ施設や機会の充実 が図られていると思う市民の割合	%	30.6	40.0	22.8	Е	l	50.0
2	郷土資料室市民利用率	%	14.0	17.0	4.8	Е	8.7	20.0

	関連事	務事業の実績値				
基本	従	事務事業名	成果指標名	H25計画值	H28計画値	H29計画値
事業	2	<b>学初学术</b> 位	<b>从</b> 本旧宗·1	H25実績値	H28実績値	H29実績値
1		市民文化祭実行	市民文化祭 市民参加率	15.0	15.0	15.0
	委員会交付金事業		(単位/%)	15.3	14.8	17.9
1		文化協会支援事業	文化協会加盟団体 合計会員数	370	357	353
		人记励公义报事来	(単位/人)	342	220	203
1		地域交流センター	利用者数	70,000	73,000	73,000
	リー 運営管理委託事業 		(単位/人/延)	62,866	67,221	66,073
2	市史編さん事業		市史編さん進捗状況	_	_	10
		印文編での事業	(単位/%)	-	-	3
2		郷土研究会支援事業	郷土研究会合計 会員数	20	19	18
		<b>柳工</b> 明九云又饭	(単位/人)	13	15	16
2		指定文化財保存	文化財関連事業 市民参加数	333	322	318
	活用事業		一	500	500	500
2	_	郷土資料収集・	郷土資料利用者 市民利用率	15.6	17.6	18.2
		管理·活用事業	中氏利用 <del>率</del> (単位/%)	12.2	8.7	8.7

<sup>※</sup>事務事業名の順番は、実施計画体系一覧に合わせてください。

<sup>※</sup>従として関連する事業は従欄に☆を記載してください。

第1次評価	所属・職・氏名 評価年月日 員会社会教育課長 今崎 大三 平成31年2月28日 総務課長 東 正人		
評価		評 価 理 由	
□ 極めて良好である		基本事業の成果指標のうち、地域交流センターの利用者数及び郷土資料室市民利用 率は、平成27年度の公民館耐震化等改修事業の影響により一時的な増加や減少がみら	
□ 良好である		れ、最終目標値に向けても順調な推移とは言いがたい状況となっている。また、芸術	
✓ 普通である		や文化に親しむ施設や機会の充実が図られていると思う市民の割合も、目標値を下回る状況となっているが、これらについては関連事務事業の内容の充実を図っている。	
□ 問題がある		また、平成29年度よりの砂川市史の平成版をまとめる市史編さん事業についても、執	
□ 極めて問題がある		筆に向けた準備作業が順調に進んでいることから「普通である」と評価する。	

近年の少子高齢化や人口減少の進行、国際化の進展など、社会の状況が著しく変化してきているなかで、市民が文化芸術活動にふれる機会の拡大や文化団体への参加者の増加を見込むことは、困難な情勢になってきている。今後は、一層、広範な関係部署などとの連携を視野に入れるなど、総合的な文化芸術施策の展開を検討することが課題となっている。

また、郷土砂川の貴重な文化財や郷土資料の保存、継承等について、今後においても、経年による劣化や資料の散逸等について留意して関連施策を検討していくことが必要となる。

### 今後の方向性・改善策

市民が芸術文化活動にふれる機会や文化団体への参加者数を最大限維持するために、効果的で効率的な事業展開が可能となるよう、関係機関や団体等との連携をより深めつつ、芸術文化活動や文化団体への支援について、新たな事業の実施等を含めた検討が必要である。

文化財や郷土資料の保存、継承等についても、今後の魅力あるまちづくりに資するため、郷土に関する有形、無形の歴 史資料を整理、保存して永く後世に継承し、その活用を図ることを検討していく。

第2次部件 教	価者所属·職·氏名 育次長 河原 希之 務部長 熊崎 一弘	評価年月日 平成31年2月28日
評価	評 価 理 由	
□ 極めて良好である	基本事業や関連事業の成果指標の実績値が目標値や計画値に至りるが、平成28年度及び29年度には、地域交流センターゆう、市民2	
□ 良好である	において各々周年事業を行うなどその活動が一定程度維持されてし	
✓ 普通である	編さん事業については、平成元年以降における市政の動向や出来事	
□ 問題がある	ため、砂川市史の平成版の執筆作業に向けた資料収集などの作業が ることなどから「普通である」と評価する。	い順調に進んでい
□ 極めて問題がある		

最終評価	部長城(総合計画東定安員 <i>)</i> (構成 9 る他東評価ナーム	1 1001 - 1711 - 1
評価	評価理由及び意見	
□ 極めて良好である	基本施策目標である地域交流センター利用者及び芸術文化に親しむが られていると思う割合は目標数値には届いていないものの、交流センタ	
□ 良好である	2千人台から7万4千人台の間で推移していることを踏まえると芸術3	
✓ 普通である	の創造にも繋がってきている。郷土資料室の利用も目標数値に届いていて 催して郷土資料を観賞する機会の充実に努めてきてことにより、今後の	の郷土資料室の利用向
□ 問題がある	上にもつながる事業展開も図られている。また、新しい市史の編さんにの動向、出来事を記録する貴重な資料を作成していることから「普通で	
□ 極めて問題がある		

評価年月日